

今週の富大生

Weekly TOMIDASEI

工学部 工学科
機械工学コース 2年
京都府立京都工業高等学校
(京都府)

持ち前の明るさとコミュニケーション力で

自分の道を切り拓く！

ものづくりへの想いの芽生え

もともと幼少期から、家族で工場見学や工業高校のイベントに参加することがよくあり、自分にとって工業は身近なものでした。高校も地元の工業高校へ進学し、実習を受ける中で「ものづくり、好きだなあ〜！」という思いが強くなりました。

工業高校から総合大学への進学を決意 女子枠での入学1号に

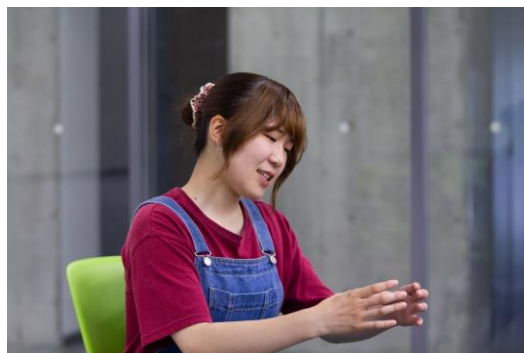
工業高校ではプログラミングなどいろいろなカリキュラムがある中、私は鉄の塊から何かを作るのが一番楽しいと感じていました。国公立で「微細加工」が学べる大学を探したところ、富山大学を見つけました！高校の先生と相談しながら、当初は通常の学校推薦での進学を検討していましたが「女子枠という入試方法ができたらいいよ」と聞き、チャンスが増えるなら！と思い女子枠での受験を決意しました。

持ち前のコミュニケーション能力を 最大限に活かす

工業高校からの進学は想像以上に、勉強についていくのが大変です。大学に入ってから高校の勉強をし直すということも珍しくありません。正直、これまで生きてきた中で一番勉強してるんじゃないかというほど勉強しています。そのため、講義を受けて理解できないところはまず先生にアポを取って教えてもらいに行きます！それから、一般教養で仲良くなった理学部の物理学科の子に物理を教えてもらったり、とにかくいろんな人に頼りながら、勉強しています。わからないことをそのままにせず、わかるようにするために自分で行動することが必要不可欠だからです。

入学前から変わらず目指すもの

大学進学の面接練習で、自分が本当にやりたいことに向き合うきっかけとなりました。高校の時に気づいた「もの作りが好き」という思いと、幼少期から工場見学をしていて興味を持った食品の会社というところで、食品の生産機械を作れるような分野を目指しています。



母校の後輩へ

はっきり言って、工業高校からの大学進学することを安易に考えているのであれば、おススメしません。苦勞します。それでも、やりたいことがあり、周りに頼ることができる人はぜひ進学してください。応援しています。

お世話になった高校の先生へ

受験シーズンに体育祭や文化祭があり学校全体が忙しい中、小論文や面接練習、進路相談に乗ってくださいありがとうございました。勉強面での苦勞も多いですが、工業高校で得た専門知識は大学に入ってからでも役立つことも多いです。何とかしようとする精神でこれからも頑張っていきます！